

寺院社家山伏行人御改書上写

元禄三（1690）年。西尾市岩瀬文庫蔵『山里村々堂宮書上写』と『寺上写』は、同文庫旧目録の『山里村々堂宮書上写』と『寺院社家山伏行人御改書上写』とを『山里村々堂宮書上写』として一括している。一括された『山里村々堂宮書上写』の方は元禄十年のもので、文字通り「堂宮」であり、「寺院社家山伏行人」である戸隠山伏などは記載されていない。

『寺院社家山伏行人御改書上写』には戸隠山伏などの記述があり、「岩瀬文庫古典籍書誌データベース」には、「表紙右に「元禄三午年三月」、書外題右左に「川南通 田中村より桑原迄 川中島通 西寺尾より杵渕迄／川東通 寺尾より沓野村迄 川北通 市村より小市迄」「有旅通 吉窪通 山田中村より古間村まで／茂菅通 下祖山村より茂菅村まで／大岡通 新町通 田野口村より赤田村まで」。元の各帳の原表紙に「元禄三年／午三月」。元禄3年に成った記録の転写本（後年の書入の写しあり）。山寺常山書写本か。」とある。

左に『寺院社家山伏行人御改書上写』から戸隠山伏を含む村の記載のみ掲げる。全体を通して山伏は本山山伏と当山山伏が圧倒的に多く、戸隠山伏は少数である。

なおコマ数は「日本古典籍総合目録データベース」からアクセスする『山里村々堂宮書上写』（DOI 10.20730/100132767）でのコマ数を示す。

川北通の内

(54コマ目)

窪寺村

- 一 正覚院 真言宗高野山龍光院末寺
秀光
- 一 西雲寺 浄土宗京智恩院末 無住
- 一 三光院 戸隠山伏
- 一 民部 社人
- 一 善入道心 禅宗植松村昌禅寺弟子

ノ

有旅通・吉窪通の内

(57、58コマ目)

黒沼村

一 戸隠山伏

行光房

五十平村

一 戸隠山灵仙坊弟子
天台宗大日堂守

与五右衛門(家来丸)加来
戒乘院

一 戸隠山伏

七左衛門家来
西方院

一 行人

与五右衛門家来
圓海

(60、61、62コマ目)

椿峯村

一 真言宗原田村専照寺末寺
高山寺

俊慶

一 戸隠山伏

徳法院

馬曲村

一 戸隠山伏

傳之丞弟 大聖院

一 同断

本教坊

一 戸隠山伏

勘右衛門子
法蔵院

一 同断

角兵衛家来
岩本

一 本山山伏

大乘院
正法院

一 同断

大乘院弟子
法明院

一 あみた堂守古山村法蔵寺弟子
禅宗道心

養心

一 葉師堂守 古山村法蔵寺弟子
禅宗僧

良圓

一 社家 三峰大明神宮守

文媛

上野村

一 明姿寺 禅宗仁科村大法寺末寺惇貞

一 羽黒山知見院弟子
行人 地蔵堂守 就尊海

一 行人 就尊海弟子
雲海

一 戸隠山伏 圓勝院

茂普通の内

(72コマ目)

櫛原村

一 正寶院 戸隠山伏??
原字は下記の



大岡通・新町通の内

(84、85コマ目)

新町村

一 安光寺 真言宗原田村
専照寺末寺

正音

一 観音寺 浄土宗知恩院末

清天

一 道心 禅宗上条村源真寺弟子蓮清

一 本山山伏

光明院

子 徳宝院

一 同断

常宝院

一 戸隠山山伏

本覚院

一 諏方大明神

社人 主殿

